

Monthly Repo. ならやま

11月21日(金) 晴れ 11名+1名

刈り払い機の安全講習会をならやまベースキャンプで実施。JAの機械研修センターから講師を招き、ならやまで使用している刈り払い機を用いてメンテナンスを中心に教わった。新たな知見がいっぱいあり、非常に有意義な講習会であった。

11月27日(木) 晴れ 70名+6名

ならやまで栽培・収穫したソバ粉を使った新ソバ祭を開催、女性陣によるテンプラの提供もありみんなで美味しくいただいた。ソバクラブのメンバーが中心となって、ソバ打ちから茹であげまで、メンバーによるソバ打ちの実演披露もあった。

先週に引き続き、第5地区のヒノキ・枯れマツなどの伐採に挑み、頑丈なイバラのスクラムに阻まれながらも善戦した。伐採したヒノキは樹皮を剥がして材として活用。



今年私たちの胃袋を満足させてくれたソバ・ピーマン・万願

寺・サツマイモなどに感謝して、来年もと栄養豊かなチップを配給。一方今年私たちを悩ませた水田雑草に対してはバーナーでお灸をすえた。その他 本年最後のベースキャンプ周辺の除草、先週から干していたダイコンの漬け込み、ツルリンドウの群生地の保護なども実施。



12月5日(金) 晴れ 27名

4日の活動日が雨のため中止となったため、臨時活動となった。みなさん予定がすでに詰まっていたので参加者は少なかったが、予報以上に気温も上がり、楽しく活動ができた。



第5地区で残されていた危険な枯れマツの伐採、ならやま里山林のカシナガ被害木の伐採を開始。シイタケ・ダイコン・サトイモなど山の幸、里の幸が皆

さんを喜ばす。機材保管テントの大掃除を開始。大きな立派なハボタンの販売も始まった。

12月12日(金) 晴れ 36名

先週に引き続き今週の活動日も雨となり、臨時活動となった。

2月にしいたけ菌を植え付けるため、コナラの伐採も開始。最も古くからある資材テントの整理を始めると、いろいろな宝物が顔を出す。

来年の黒米の豊作を祈願して水田にも栄養源のチップをえっさえっさと運び込んだ。来春の花を夢見てチューリップの球根も植え付け。

12月18日(木) 晴れ 58名+2名

芋煮会(秋の収穫祭)がもたれ、ならやま産のサトイモ、ダイコン、黒米のおにぎりなど腹いっぱい食べて満足。桜島ダイコンの重量あてクイズでは正解者が2名あり。



年末一斉清掃を行い、大量のゴミが集まった。これでよい年を迎えられる。

カシナガ被害木の伐採、水路の落ち葉清掃、サトイモ・ダイコンの収穫などを実施、また専門家による果樹の剪定指導を受けた。(木村 裕)